

2月16日（木）4階A室 9：00～9：40

1 単元名 人物の生き方について考えようー『洪庵のたいまつ』（三省堂）ー

2 単元について

単元目標 伝記を読み、他者の考えをよく聴き、人間の行動や生き方について自分の考えを持つ。

「洪庵のたいまつ」は、江戸時代末期に適塾を開き、明治という新しい時代に活躍する人材を育てた緒方洪庵の生涯について書かれている。筆者、司馬遼太郎が、5年生のために書き下ろした伝記である。伝記は、人物の生き方を知ることができる。間もなく最高学年となる子どもたちにとって、歴史的な人物に伝記を通して出会い、考え、自分の生きる目標や、生き方について考えることは、伝記を読んで学ぶ意義を高めるものと考えられる。

また、開発研究，“てつがくすること”とも関連し、国語の学びのなかで、教材で出会う人物や人物の生き方について考えることは、てつがくすることにもつながっていくことと考える。本単元では、この洪庵の生き方について考え、筆者、司馬遼太郎が後世を託した子どもたちに書き表した「世のためにつくすこと」、「名を求めず、利を求めない」、「他人のために生き続ける」、「人なみでない部分をもつことはすばらしいことなのである。そのことがものを考えるばねになる」などの言葉は、国語でてつがくする題材として、とても深く、重いものである。こうした司馬遼太郎の言葉にも目を向けながら人物、緒方洪庵の生き方について考え、自らの考えを持ってもらいたい。

3 学習指導計画（8時間目／全10時間）

- (1) 『洪庵のたいまつ』を読み、初発の感想、言葉調べをする（1時間）
- (2) 緒方洪庵の人物像を読みとる（1時間）
- (3) 読み深めるための「問い」を考える（1時間）
- (4) 問いを交流し、読み深める問いを見つける（1時間）
 - ・ノートに書いた問いを、ノートを交換し合い、解き合う。
- (5) 問いに対する考えを交流し合う（4時間）
 - ・「名を求めず、利を求めなかった」とは、どんな生き方なのか。
 - ・「洪庵のたいまつ」とは何を示しているのか
 - ・筆者が考える「洪庵に感謝する」理由は何か
 - ・「世のためにつくした人の一生ほど、美しい」のか。
 - ・「志」とは何か
- (6) 司馬遼太郎の表現する「美しい生がいとはどんな生がいなのだろうか」（1時間）【本時】
- (7) 司馬遼太郎が小学5年生に伝えたかったことはなにか。（1時間）

4 本時の学習について

- (1) 本時のねらい
 - 洪庵の生き方から「美しい生がい」についての自分の考えを持つ。
- (2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 筆者、司馬遼太郎の書く「美しい生がい」とはどんな生がいなのだろう。 </div> 2 自分の考えを書く。 3 考えを交流し合う。 4 交流を踏まえた上で、「美しい生がい」とは何かを書く。	○課題を理解する。 ○本文を根拠にして自分の考えを持つ。 ○それぞれの読みの違いについて気づかせたい。 ○筆者の考えを読み、他者の考えを聴いた上で自分の考えをまとめる。